

阿蘇山の火山活動解説資料

福岡管区气象台

地域火山監視・警報センター

＜噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ＞

阿蘇山の中岳第一火口では本日（20日）11時43分に噴火が発生し、火砕流が火口より1km以上に達しました。

阿蘇山では、本日11時48分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

【防災上の警戒事項等】

中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

○ 活動概況

阿蘇山の中岳第一火口では、本日（20日）11時43分に噴火が発生し、火砕流が火口から西方向に1,300m（速報値）流下しました。噴煙は火口縁上3,500mまで上がり東方向へ流れています。また、噴火に伴う大きな噴石が南方向に900m（速報値）飛散しました。

阿蘇山では本日11時48分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

古坊中観測点の傾斜計では、この噴火に伴う傾斜変動を観測しました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、九州大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。

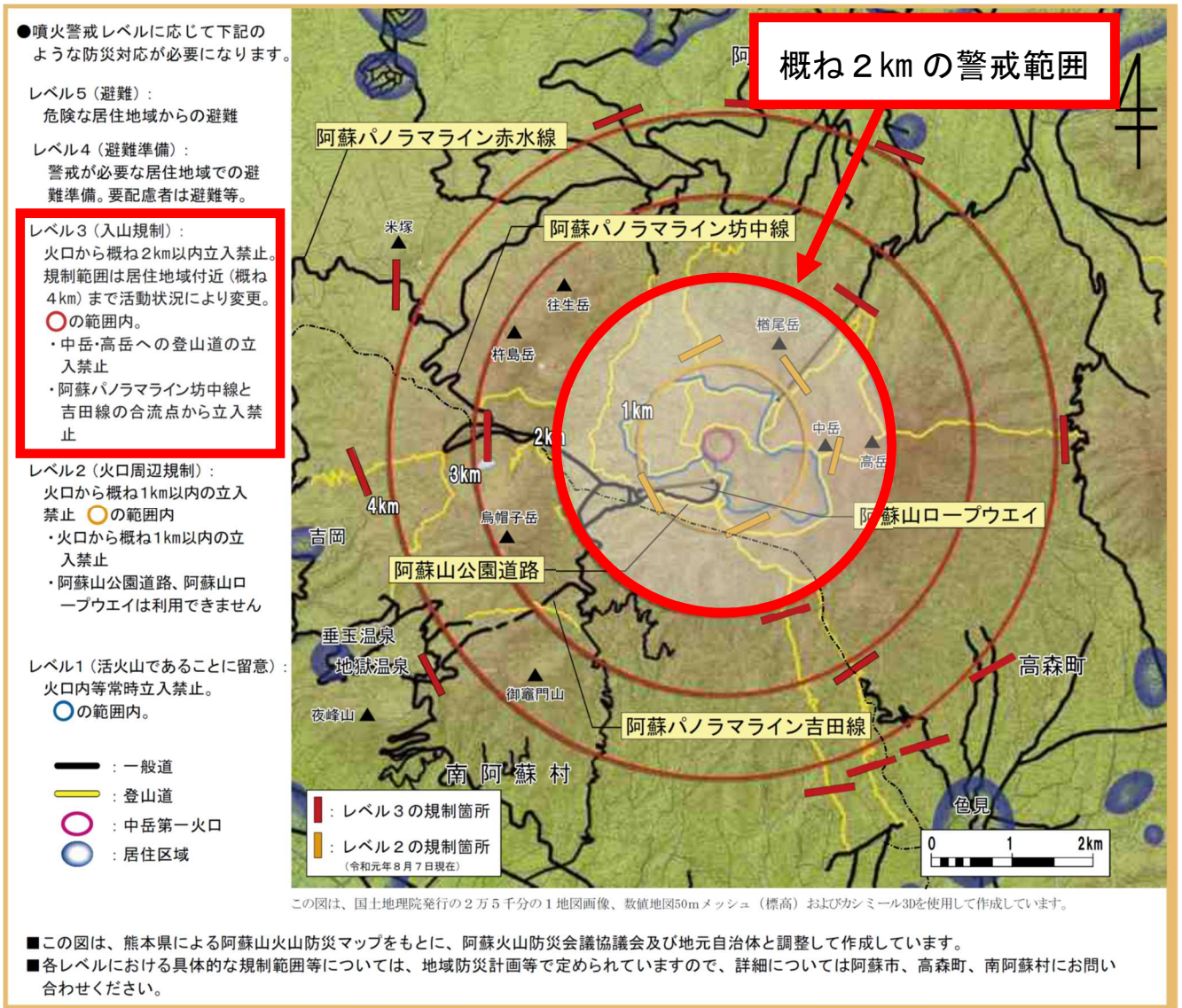


図1 阿蘇山 警戒が必要な範囲

中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。



図 2-1 阿蘇山 噴煙の状況 (10月20日、草千里監視カメラ)



図 2-2 阿蘇山 噴煙の状況 (10月20日、車埴監視カメラ)

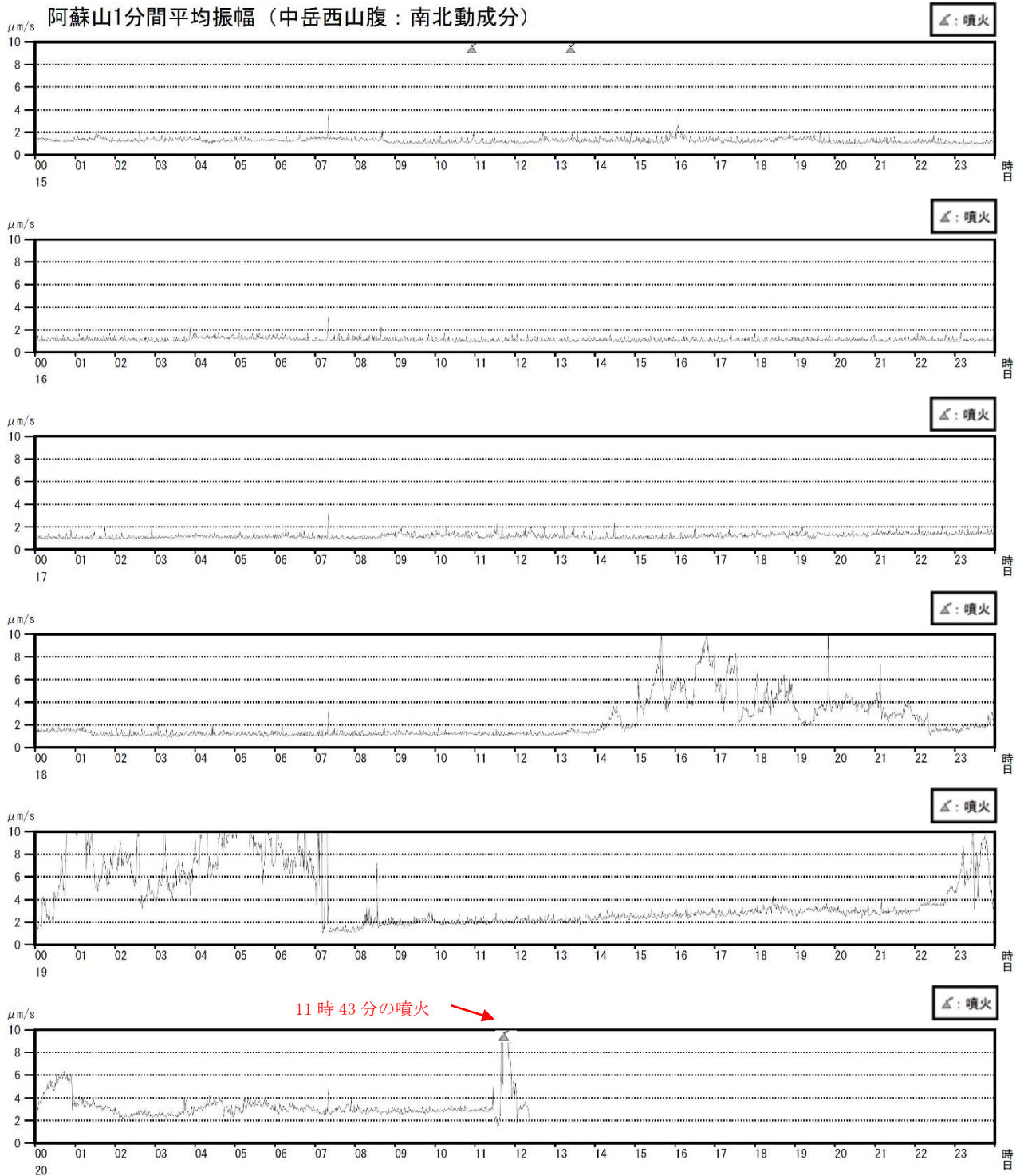


図3 阿蘇山 火山性微動1分間平均振幅
（中岳西山腹観測点南北動成分、10月15日～20日12時20分）
火山性微動の振幅は、噴火前までは4 μm/s程度で経過していました。

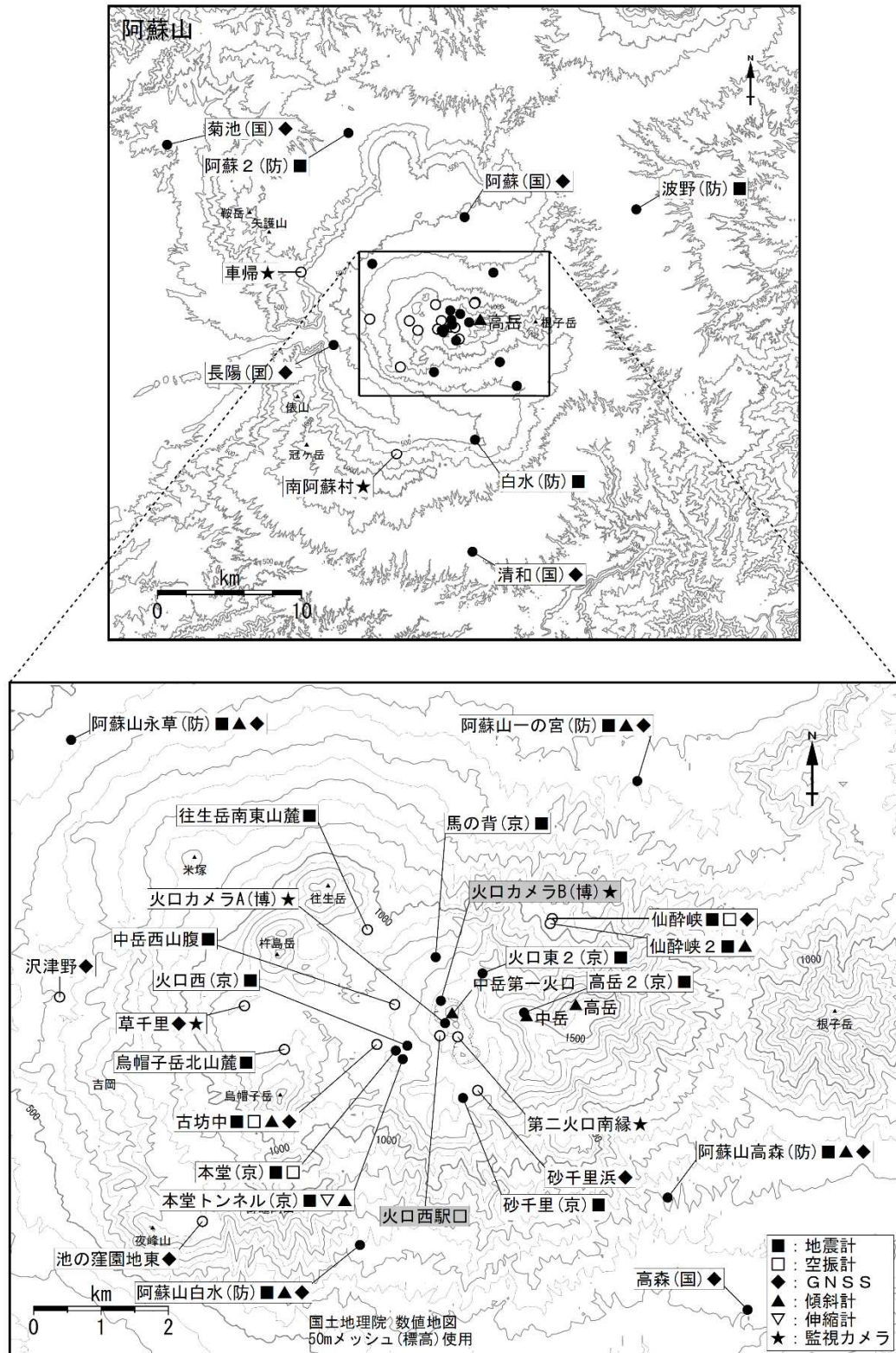


図4 阿蘇山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(京) : 京都大学、(防) : 防災科学技術研究所、(博) : 阿蘇火山博物館、(国) : 国土地理院